

大川よういち通信

※「議会だより」の名称を変更しました

平成23年4月11日発行

●発行●

大川よういち後援会

〒373-0057 太田市本町47-15

TEL.0276-22-2966

FAX.0276-60-4047

E-mail : youiti@bb.mbn.or.jp

大川陽一さんは、語ります



町づくりについて聞く

Q&A

“みんなの声を市政に!”を合言葉に市政にたずさわってきた大川陽一さん。多方面にわたる八面六臂の活躍は、行政に対してのチェックや提言に限らず、その背景には“人と人との絆をはぐくむ町づくりへの熱い思い”があるようです。

Q なにか妙案はありますか

A 富岡市には買い物難民を救う自主経営スーパー「おかつて市場」がありますが、太田市

Q 本町をはじめ東本町、八幡町、金山町、西本町、浜町など、旧市街地を地盤にしている訳ですが、大川さんにとって何が一番気になることですか。

A 高齢化というか、超高齢化社会になってきたな、ということでしょうか。近辺にコンビニなどはまだありますが、大きなスーパーなどはなく、車に乗れないお年寄りなどはすでに買い物難民化していると言っても過言ではありません。

Q 高齢者が増え、人と人との関係が希薄となりつつあり、「無縁社会」化の傾向にあります。65歳以上の高齢者が人口比率で50%を超えた行政区を「限界集落」と呼んでいますが、なにも山村だけの話ではなく旧市街地の太田でも問題になってきています。

A また、単身世帯も多く、人々との関係が希薄となりつつあり、「無縁社会」化の傾向にあります。65歳以上の高齢者が人口比率で50%を超えた行政区を「限界集落」と呼んでいますが、なにも山村だけの話ではなく旧市街地の太田でも問題になってきています。

Q 富岡市には買い物難民を救う自主経営スーパー「おかつて市場」がありますが、太田市

A 富岡市には買い物難民を救う自主経営スーパー「おかつて市場」がありますが、太田市

Q 高齢者が安心・安全に暮らせるというのには最低条件ですね。もう一方で、町の未来にとって更に重要なのは教育問題だと思えますが。

A おっしゃる通りです。町の未来をになうのは今の子どもたち。その子どもをどう教育し、伸ばして育てていくのか。いつの時代でも大きなテーマの一つですね。幸いなことに、学校の耐震化工事はほぼ終了し、流れはハードからソフトへと移ってきています。まず、いじめのない明るい学校づくり、少人数学級の実現、学力向

Q 高齢者が安心・安全に暮らせるというのには最低条件ですね。もう一方で、町の未来にとって更に重要なのは教育問題だと思えますが。

A おっしゃる通りです。町の未来をになうのは今の子どもたち。その子どもをどう教育し、伸ばして育てていくのか。いつの時代でも大きなテーマの一つですね。幸いなことに、学校の耐震化工事はほぼ終了し、流れはハードからソフトへと移ってきています。まず、いじめのない明るい学校づくり、少人数学級の実現、学力向

上と豊かな心の育成、スポーツや文化活動などの充実、市立中高一貫教育校設置などなど。やらなければならぬ問題は山積しています。話は少し飛びますが、去年の十一月、秋田の国際教養大学へ、視察に行ってきました。ここは「英語を学ぶ大学」ではなく「英語で学ぶ大学」として知られ、在学中はすべての授業が英語で行われ、偏差値も高く就職先は上場企業をはじめ引く手は数多だといえます。学生には一年間の海外留学を義務化し、徹底した少数精鋭主義。学生15人に専任教員比率一人という形で対応しています。

大川陽一プロフィール

太田市本町生まれ(昭和24年4月4日)
太田市立北中学校卒業
群馬県立太田高等学校卒業
学習院大学経済学部経済学科卒業
★平成19年初当選
市民経済常任委員会副委員長
都市建設常任委員会副委員長
総務企画常任委員会副委員長などを歴任
現在は

- 教育福祉常任委員会委員
- 医療施設整備特別委員会委員
- (株)ギフト・オーカワ代表取締役
- 太田市南一番街振興組合副理事長
- 太田商工会議所議員
- 環境廃棄物問題研究会副会長
- 太田ライオンズクラブ会員



blog <http://okawayoichi.blog27.fc2.com/>
twitter http://twitter.com/okawa_yoichi
<http://www.okawayoichi.net>

Q 話は変わりますが、今、小中学校、教科書のデジタル化が話題になっています。

A 大賛成です。日本の教育改革は全小中学校の教科書デジタル化から始めたいと思っています。

Q 話は変わりますが、今、小中学校、教科書のデジタル化が話題になっています。

A 大賛成です。日本の教育改革は全小中学校の教科書デジタル化から始めたいと思っています。

Q 大川さんは世代的にはアナログ派だと思いますがデジタル派なんですね。

A 涙ぐましい努力のかいあって、パソコンなども使いこなしています。

Q 今、東日本大震災の余波で計画停電問題が起こっていますが、電力の需給を制御する次世代送電網技術(スマートグリッド)など、これを契機にもっと研究を進めていったらいいと思ってます。

A 要するに、家庭やビルに通信機能付きのメーターを設置して、地域の太陽光発電の設備、蓄電池などとITで連携させるシステムです。まさに地域ぐるみのエネルギー革命ですね。国では5000世帯以上の家庭、電力や自動車メーカーなど80社が参加する、総事業費1266億円のプロジェクトとして計画していますが、モノづくりの町太田市にとっては、ちよつと気になるプロジェクトです。

Q 丸暗記中心の、これまでの教科書とは根本的に異なった、考える力を養うためのツールとしてのデジタル教科書こそ、国の競争力が低下している現在、必要だと思います。

A 大川さんは世代的にはアナログ派だと思いますがデジタル派なんですね。

A 涙ぐましい努力のかいあって、パソコンなども使いこなしています。